

「家計」に例えたら

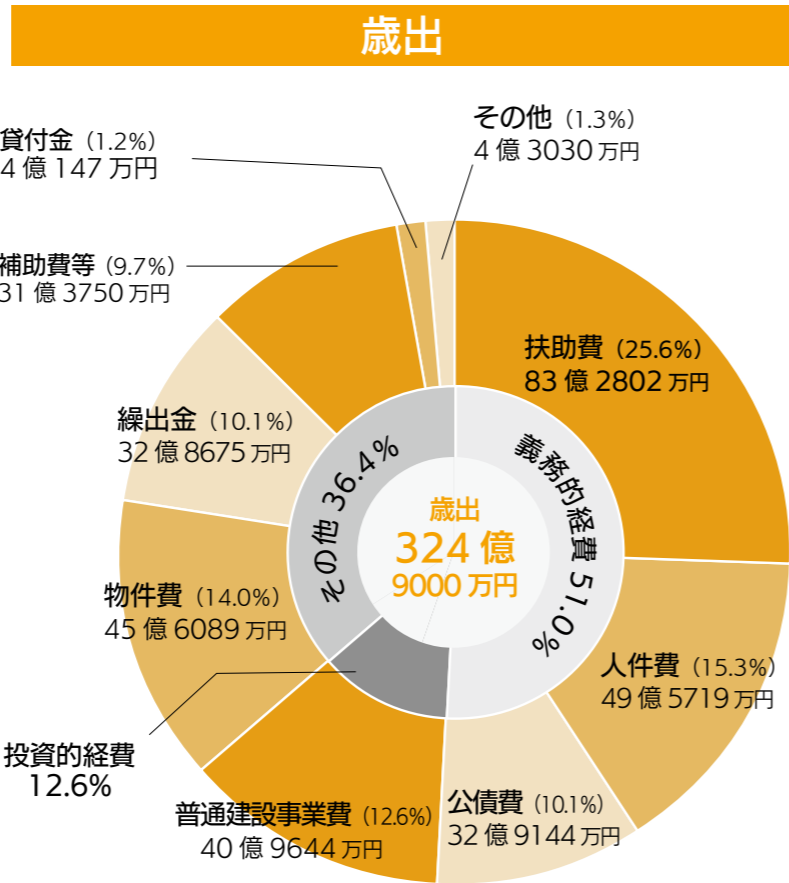
市の予算は、普段の生活とはかけ離れた金額なので、想像しづらいですね。そこで市の予算を10万分の1にして、1カ月の家計簿に置き換えてみました。

収入 (カッコ内は予算科目)	金額
基本給 (市税、使用料、手数料など)	80,000円
諸手当 (地方交付税など)	91,000円
親からの仕送り (国県補助金など)	107,000円
銀行からの借入 (市債)	26,000円
預金の取り崩し (繰入金)	19,000円
先月の残金 (繰越金)	2,000円
合計	325,000円

支出 (カッコ内は予算科目)	金額
食費 (人件費)	50,000円
医療費、教育費など (扶助費)	83,000円
水道光熱費、物品購入費用 (物件費)	46,000円
家や車などの修理、電気製品などの購入費用 (維持補修費、普通建設事業費)	42,000円
家族への仕送り、自治会費など (繰出金、補助費など)	64,000円
借入金の返済 (公債費)	33,000円
友達に貸すお金 (貸付金)	4,000円
雑費 (その他)	3,000円
合計	325,000円



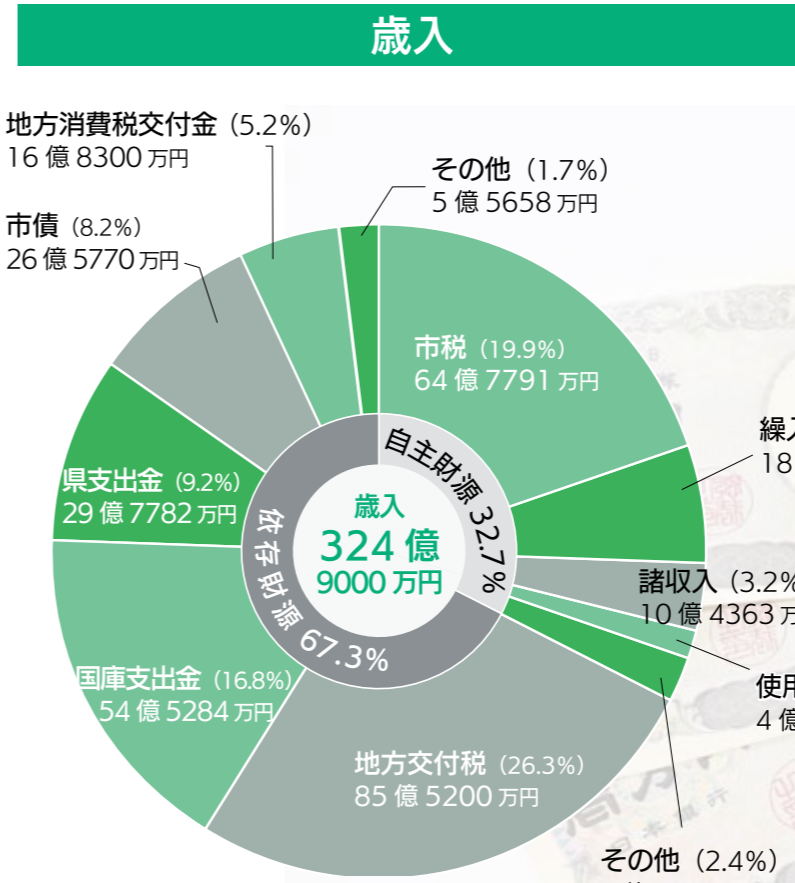
柳川をハード面でリニューアルするため、建設事業での歳出が大幅に増えています



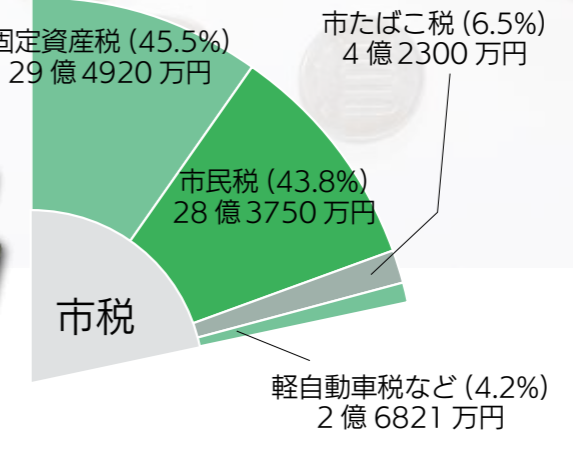
グラフ内の用語説明

歳出	歳入
<ul style="list-style-type: none"> ●扶助費 高齢者や子ども、障がい者を支援するためのお金 ●公債費 市の借金を返済するためのお金 ●普通建設事業費 道路・水路や公共施設に必要なお金 ●物件費 事務費や消耗品費など消費的性質をもつ経費 ●補助費等 市が他の団体などに払う経費 	<ul style="list-style-type: none"> ●繰入金 積立金や他の会計から繰り入れるお金 ●地方交付税 市町村の財政力に応じて行政サービスのために国から交付されるお金 ●国庫支出金 市の特定事業のために国から交付されるお金 ●県支出金 市の特定事業のために県から交付されるお金 ●市債 市の借金

7970万円増の165億7665万円を計上しています。そのうち人件費は、職員の平均年齢上昇による人件費増加のため、前年度比1142万円増の49億5719万円。扶助費は、子育て支援や障がい者支援などの経費が増加したことで、前年度比6314万円増の83億2802万円となっています。また、投資的経費である普通建設事業費は、沖端水天宮周辺地区や西鉄柳川駅周辺の電線地中化の推進や掘削整備事業、昭代第二小や蒲池小の大規模改造工事、クリーンセンターの解体などのため、前年度比10億1191万円増の40億9644万円。物件費は、ふるさと寄付金推進費や公共施設の光熱水費が上昇したため、前年度比3億3827万円増の45億6089万円を計上しています。



市税のうち、固定資産税と市民税が9割近くを占めています



市税は、前年度の収納見込みや税制改正などを勘案し、前年度に比べ4270万円増の64億7791万円を計上しています。地方交付税は前年度比1億2200円増の85億5200万円を計上。また、市債は、クリーンセンターや市民会館の解体、昨年引き続き実施する沖端や西鉄柳川駅周辺の掘削整備などのため、前年度比7億8000万円増の26億5770万円を計上しています。

電線地中化や小学校改修などで普通建設事業費が10億円増

扶助費や人件費、公債費など必ず必要となる義務的経費は、前年度比

市税収入は約4000万円増 地方交付税は1億円以上増

市税は、前年度の収納見込みや税制改正などを勘案し、前年度に比べ4270万円増の64億7791万円を計上しています。地方交付税は前年度比1億2200円増の85億5200万円を計上。また、市債は、クリーンセンターや市民会館の解体、昨年引き続き実施する沖端や西鉄柳川駅周辺の掘削整備などのため、前年度比7億8000万円増の26億5770万円を計上しています。

令和5年度の柳川市一般会計予算が3月の市議会定例会で可決、成立しました。予算総額は歳入、歳出いずれも324億9000万円。前年度当初予算に比べ16億5400万円、5.4%の増加。子育て支援や教育環境の整備、建物の解体や再開発のために予算を重点的に配分しています。それは、歳入、歳出について、前年度と比較して、特徴的なところを説明します。



市公式サイト
予算

324億9000万円を計上

令和5年度一般会計予算

【問】市財政課財政係 (877・8432)

どうなってるの？ 市の借金や貯金

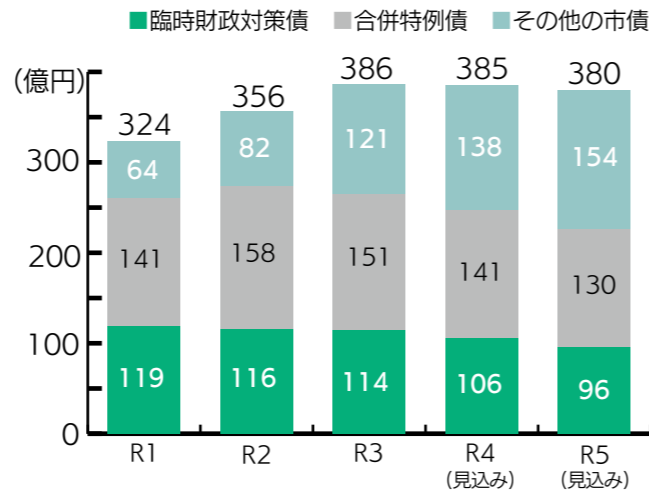
市の貯金「基金」と市の借金の「市債」。ここでは基金や市債がどう推移しているのかをグラフにしてみました。また、過疎地域の市町村だけに認められている過疎対策事業債がどんな事業に使われているかを一覧にしてお知らせします。

過疎対策事業債は 14億6060万円

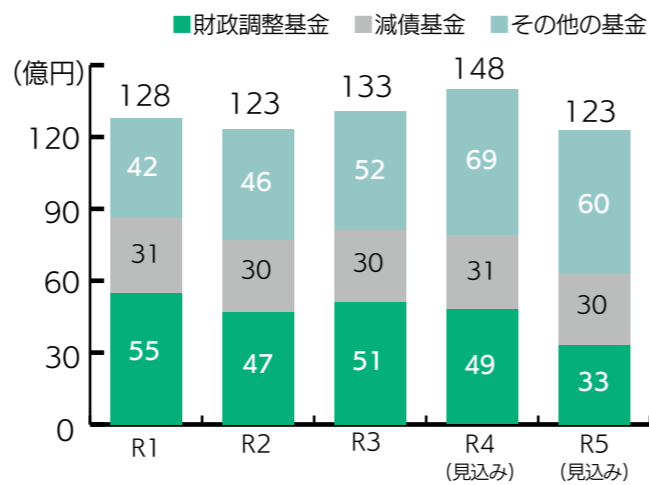
旧大和町と旧柳川市が過疎地域に指定されている柳川市。市は、過疎地域の市町村だけに認められる過疎対策事業債として14億6060万円を借り入れ、クリーンセンター解体ややながわ子ども・子育て応援事業など15の事業に活用します。同債は70%が地方交付税として交付される、財政的に有利な地方債です。それぞれの事業に活用する予算額(1万円未満四捨五入)は次のとおりです。

過疎対策事業債活用事業	予算額(円)
保育所施設整備事業費 (ポッポ幼稚園)	3230万
小型合併処理浄化槽設置事業費	2820万
資源物一時貯留施設整備事業費	3240万
クリーンセンター解体事業費	2億7430万
農業水利施設保全対策事業負担金	5000万
漁協共同利用施設整備事業費	4480万
観光駐車場整備事業費	250万
道路整備事業費	3億4840万
公共下水道事業費	1億500万
公園整備等事業費	2500万
三橋筑紫橋線都市計画	9800万
街路事業負担金	
水郷柳河掘割地区整備事業費	1億7460万
昭代第二小学校校舎	1億160万
大規模改造事業費	
蒲池小学校校舎	1億670万
大規模改造事業費	
やながわ子ども・子育て 応援金事業費	3680万
合計	14億6060万

市債残高の推移(一般会計)



基金の推移(一般会計)



特別会計

特別会計は、特定の事業のために、特定の歳入、歳出を一般会計とは区別して経理する会計です。市には3つの特別会計と2つの企業会計があり、それぞれの会計の歳入歳出予算額(1万円未満四捨五入)は次のとおりです。

特別会計	予算額(円)
国民健康保険特別会計	83億1861万
後期高齢者医療特別会計	12億700万
公共用地先行取得等特別会計	1万
水道事業会計	
収益的収入	14億8418万
収益的支出	14億896万
【企業会計】	
資本的収入	7億7559万
資本的支出	11億1546万
下水道事業会計	
収益的収入	7億7507万
収益的支出	7億5461万
【企業会計】	
資本的収入	5億4573万
資本的支出	7億4572万

施策を支える 4つの柱

今年度の主な事業

第2次柳川市総合計画で目指す将来像「水と人とまちが輝く柳川」を実現するため、4つの政策目標に沿って進める主な事業を紹介します。

若い世代の希望を叶え、柳川の子育て、暮らしに幸せを感じる **ひとつづくり**

■柳城児童公園の整備 3600万円 **New**

柳城児童館跡地を公園駐車場として整備することで、公園内の遊びスペースを確保し、幼児向けの遊具を新設。小さな子どもが楽しく安心して遊べる公園として再整備します。

■やながわ子ども・子育て応援金事業 5059万円 **New**

市内での子育てを応援するため、出産時と小中学校入学時に応援金を給付し、子どもを生み育てやすい環境を作ります。国の出産・子育て応援交付金とは別の市独自の給付金です。



水郷柳川の風情や快適さに共感し人を惹きつける **まちづくり**



■水郷柳河掘割地区整備事業 3億8208万円

市の玄関口の西鉄柳川駅周辺、観光の中心の沖端水天宮周辺地区などの再開発や、電線の地中化を推進し、柳川らしい景観の整備を行います。

■資源物貯留施設管理事業 4992万円 **New**

缶やびんなど全ての家庭ごみをワンストップで持ち込める施設「らくらくステーション」が有明ひまわりセンターの隣に開館予定です。

柳川の歴史・文化・風土に誇りと愛着を持つ **ふるさとづくり**

■市民体育館LED照明器具切替工事 6544万円 **New**

市民体育館の館内照明を二酸化炭素排出量が少ないLEDに切り替えます。また、LEDは長寿のため、長期的なコストカットも見込めます。

■文化財保存修理補助金 748万円 **New**

三柱神社や並倉、白秋生家や戸島家など、市内の文化財の保存や修理を行い、柳川が誇る歴史や文化を未来に残します。



柳川の地域資源や産物を誇れる **しごとづくり**

■漁協共同利用施設整備事業補助金 4481万円

漁協などが行う水産振興事業に対し、県からの補助金に追加して市からも補助金を交付し、水産業の振興を図ります。

■新規起業・創業支援事業 1558万円

市内での起業を支援するため、起業セミナーやアドバイザーの派遣、創業時の初期投資への補助を実施します。

